

HCC TIMES

Vol.211

2021

1

http://www.sg-h.com



NPO法人 SG博友会
〒560-0085 豊中市上新田3丁目10番35号
TEL:06-6444-3030 FAX:06-6444-3552
編集元 H.C.C事務局 石倉慎也

“豊泉家10ヶ年長期経営計画”

10大目標 2030実現

発進の年2021

【次世代の利益の為に未来に挑戦】



豊泉家グループ代表 会長 田中 成和

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、公私ともにまた物心両面で苦楽を共にしていただき誠に有難うございました。新年も倍旧のご指導・ご支援・ご厚情の程よろしくお願ひ申し上げます。本年西暦2021年(和暦令和3年)が豊泉家大家族会(豊泉家ユートピアクラブ)会員の皆様方にとりまして健康康心で充実した幸多い一年でありますよう衷心よりご祈念申し上げます。昨年は、2月に発生いたしました新型コロナウイルス感染症により、世界各国で8400万人以上が感染し、180万人以上の人が亡くなっています。また、日本に於いても22万人以上が感染し、3300人以上の人が亡くなっています。

豊泉家10ヶ年長期経営計画10大目標 (2020.4.1~2030.3.31)

目的	手段	新規事業	成果	
フェロー第一 経営実現	<フェローユートピア構想> ・フェロー経営システム創設 (リフレッシュセブンス: 豊泉家年会制度・健康康心経営) ・ダイバーシティ (Job型・無定額制・女性管理職50%・多国籍グループ) ・忘れがたい強い信念でフェローを愛するの心!	<家族・健康社会創設> 【家族】・HCC(豊泉家ユートピアクラブ)・豊泉家倶楽部 【健康】・確立の理念・4Domain (AC・WC・PC・LD) ・確立の理念・統合事業 Health Linkの構築	<ソーシャルインクルージョン> ・チャレンジド事業 医療型障がい児入所施設 2009ed 開業 ・チャレンジドベッド3000ed 個室数 1500名 ・チャレンジド雇用創出 (就業支援モデル)	3000名 フェローと 営業を共に ・豊泉家コールセンター(日本・米国・ミャンマー) 海外入居者の管理50% (米国300名、ミャンマー=300名) ・事業創出=雇用創出=フェロー創出 ・マンパワー(少人数精鋭)とデジタルの融合
C.I.S実現	<ヘルスケア・デジタルトランスフォーメーション> ・デジタルヘルスケア整備 ・次世代型デジタルヘルスケア事業推進 ・豊泉家 情報・流通・交通革命	<医療介護サービス> ・徹底的に把握する新予防 HAP ・生命予防事業 (健診・検診) 刷新 ・フレンドシップスタジアム事業 (ハッピーエイジング) ・HIME LAB (郵送検査事業)	<生涯在宅生活支援サービス創出> ・次世代型在宅サービス(テラプロ)創出 ・在宅専業主婦サポート人材創出 ・豊泉家トランジット(グリーンキャブス) 事業創出	医療介護 合わせて2000ed (地域密着型) ・豊泉家コールセンター(日本・米国・ミャンマー) 設立 ・日本・米国・ミャンマー 海外入居者 育成 ・新築 (Bed増) 介護 (AC) ドメイン 7000ed以上 ・在宅専業主婦サポート人材創出 ・M&A PJ (Bed増) 医療 (WC) ドメイン 5000ed以上
デジタル化 戦略	<グローバルイノベーション> ・世界に向けたIT産業創出(生命・生活・人生) ・グローバルヘルス (LIGHT HOUSE) ・海外人材確保・グローバル活躍人材創出	<生活・住宅生活支援サービス創出> ・全世代型在宅サービス(テラプロ)創出 ・在宅専業主婦サポート人材創出 ・豊泉家トランジット(グリーンキャブス) 事業創出	2030.4.1事業承継 “次世代の利益のために優秀な人材(フェロー)を残す” 『愚直に 地道に 徹底的にやり続ける』	
グローバル 戦略	<グローバルイノベーション> ・世界に向けたIT産業創出(生命・生活・人生) ・グローバルヘルス (LIGHT HOUSE) ・海外人材確保・グローバル活躍人材創出	<生活・住宅生活支援サービス創出> ・全世代型在宅サービス(テラプロ)創出 ・在宅専業主婦サポート人材創出 ・豊泉家トランジット(グリーンキャブス) 事業創出		
Challenged 事業創出	<ソーシャルインクルージョン> ・チャレンジド事業 医療型障がい児入所施設 2009ed 開業 ・チャレンジドベッド3000ed 個室数 1500名 ・チャレンジド雇用創出 (就業支援モデル)	<医療介護サービス> ・徹底的に把握する新予防 HAP ・生命予防事業 (健診・検診) 刷新 ・フレンドシップスタジアム事業 (ハッピーエイジング) ・HIME LAB (郵送検査事業)		
HAP 事業創出	<徹底的に把握する新予防 HAP> ・生命予防事業 (健診・検診) 刷新 ・フレンドシップスタジアム事業 (ハッピーエイジング) ・HIME LAB (郵送検査事業)	<生活・住宅生活支援サービス創出> ・全世代型在宅サービス(テラプロ)創出 ・在宅専業主婦サポート人材創出 ・豊泉家トランジット(グリーンキャブス) 事業創出		
HOME LIFE 事業創出	<生涯在宅生活支援サービス創出> ・全世代型在宅サービス(テラプロ)創出 ・在宅専業主婦サポート人材創出 ・豊泉家トランジット(グリーンキャブス) 事業創出	<医療介護サービス> ・徹底的に把握する新予防 HAP ・生命予防事業 (健診・検診) 刷新 ・フレンドシップスタジアム事業 (ハッピーエイジング) ・HIME LAB (郵送検査事業)		
SCHOOL 事業創出	<全世代型在宅サービス(テラプロ)創出> ・在宅専業主婦サポート人材創出 ・豊泉家トランジット(グリーンキャブス) 事業創出	<医療介護サービス> ・徹底的に把握する新予防 HAP ・生命予防事業 (健診・検診) 刷新 ・フレンドシップスタジアム事業 (ハッピーエイジング) ・HIME LAB (郵送検査事業)		

昨年10月より、全フェロー1500名に対し、PCR検査を毎月1回義務付け、個客の皆様にも新規受入れの際、全員にPCR検査の実施を御願ひ申し上げております。又、地域の皆様にも、二日1000検査の検査体制を整え、PCR検査サービスを実施しております。是非、早期の予防検査受診をお勧めいたします。又、本年度11回目を迎えます「新春豊泉家大家族会」につきましても、大阪府がLEDステージ(非常事態宣言)となつたことを受け、皆様の安全を第一と考え、延期することを決定いたしました。開催日程が決まりましたら、お知らせいたします。

昨年2020年は、豊泉家誕生25周年の年を迎え、2030年ビジョンC.I.S(家縁健康社会)実現に向けて発進いたしました。さて2021年のモットーを申し上げます。豊泉家10ヶ年長期経営計画 10大目標 2030

謹賀新年



■同心円型組織

実現 発進の年2021「次世代の利益の為に未来に挑戦」といたしました。2030年3月31日をゴールとして左記の10大目標必達に向けて本年より本格発進させていただきます。二大目的のつ目は、昨年の「フェロー第一経営実現」です。次世代の利益の為に、生命を豊かにする「豊泉家LIFE」を産業に「長期の視野に立ち、生きる為に必要な産業と位置付け創出」してまいります。「医療介護サービスの質は「フェローの質である」という第一経営実現を目的の第一に掲げました。

二つ目は、「C.I.S実現」です。C.I.Sを「家縁健康社会」創造と呼んでいます。2018年のモットーであり「地域包括ケアシステム 豊泉家モデル」のC.I.Sプロジェクトを3ヶ年36回積み重ねてまいりました。勿論リサーチ(調査研究)プラン(計画)止まりで実行(Do)までには至っていません。しかし、健康社会創出が必要となる団塊の世代が全員後期高齢者(75歳以上)になります。2025年まで4年しかありません。

2021年(令和三年)元旦 豊泉家グループ代表 会長 田中 成和

「二つ目は、C.I.S実現」です。C.I.Sを「家縁健康社会」創造と呼んでいます。2018年のモットーであり「地域包括ケアシステム 豊泉家モデル」のC.I.Sプロジェクトを3ヶ年36回積み重ねてまいりました。勿論リサーチ(調査研究)プラン(計画)止まりで実行(Do)までには至っていません。しかし、健康社会創出が必要となる団塊の世代が全員後期高齢者(75歳以上)になります。2025年まで4年しかありません。また、新たな事業の創出にも挑戦してまいります。「Challenged事業」「HAP事業」「HOME LIFE事業」「SCHOOL事業」を豊泉家の新規事業と位置付け、さらに多く皆様様に豊泉家のサービスをお届けいたします。豊泉家が未来に挑戦するためには三大原理主義が必要不可欠と考えています。①自責主義により、自己研鑽及び豊富な経験体験を積み上げる ②利他主義により、他者の為に生きる人間の本来を全うする ③大家族主義により、三相互相互互信頼・相互支援・相互進化・家縁社会を実現する。併せて次世代の利益の為に、愚直に地道に徹底的にやり続けること。その成果として「3000名フェロー」と苦楽を共に、「医療介護合わせて2000Bed」を必達してまいります。

見通した時、人口減少、財政赤字、貿易収支悪化の共通の原因は、①リスクを取らない国民性、②閉鎖的な出入国管理政策、③ダイバーシティの消極的運用が考えられます。我々は、知的財産は米国ニューヨーク、人的財産は米国マリーヤンゴン、そして日本大阪の3都市を結ぶ豊泉家グローバルライオンを展覧するグローバル戦略を実行してまいります。是非ご期待ください。

HCC北緑丘

お寿司パーティー



11月28日(土)・29日(日)、特別養護老人ホーム豊泉家北緑丘6階テラスルームにて、11月度イベント「お寿司パーティー」を開催いたしました。6階に上がると、すぐに大きな寿司暖簾が皆様をお出迎へし「暖簾の先には、「はい!」と声掛けが響き渡ります。和を感ずるBGMが流れ、いつものグリーンルームで「和」の雰囲気演出。皆様からは、「この日を楽しく過ごしたい!」というお声が多く聞かれました。いつものようにお寿司を召し上がられていくお入居者の笑顔がとても印象的でした。「もつと食べたい!」とおかわりをされる方もいらっしゃる中、美味しさを堪能された方も多かったようです。また、「お寿司パーティー」は、お祝い感溢れるイベントとなりました。

記者・高島 将吾

HCC桃山台

お寿司パーティー



11月4日(水)・5日(木)、アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台4階テラスルームにて、11月度イベント「お寿司パーティー」を開催いたしました。外出が出来ない状況下でも少しでも外食気分を味わっていただくという思いから今回のお寿司パーティーを実施いたしました。まずは、お寿司盛り合わせをお召し上がりいただき、その後のおかわりとして多数のネタを取り揃え、皆様にはたくさんのお寿司をお召し上がりいただきました。中トロやブリ、鯛にうなぎ等豊富なネタにサイドメニューもあり、皆様舌鼓を打ち、「満腹の様子でした!」人気のネタは途中でネタ切れになり、寿司職人も大忙し!デザートのアイスクリューまでおかわりされる方がいらしたほど、このイベントを通して食欲の秋を堪能していただくことが出来たと思っております。

記者・高崎 孝宜

HCCチャレンジド

秋の芸術!木の実ペンダント



11月の「工作クラブ」は、木の実ペンダントを作成いたしました。今回は11月ということも、秋を感じられる作品を作っていたらいいなということから製作に取り組んでいただきました!はじめは、「木の実ペンダント」と名前を聞いてもイメージが湧かなかったようでしたが、いざ材料を配り終え、色んな種類の木の実を前に頭を悩ませ、配置にもこだわりながら作り進められていきました。形が決まれば、土台となる幹にそれぞれ木の実を付けていただき十人十色のペンダントが出来上がりました!出来上がったペンダントを見せ合いながら、「どんな形にしたの?」「綺麗にできたね!」とお互いの作品を鑑賞しながら会話を弾ませておられました。秋といえば、芸術の秋!と言われている様に秋にぴったりの工作となりました。今後四季折々の工作を楽しんでいただくような楽しいクラブを企画してまいります。

記者・原 慶彦

HCC茨木

トランベルミュージック



11月12日(木)、ほうせんか病院ロビーホールにて「第57回ほうせんか病院ロビーコンサート」を開催いたしました。ロビーコンサートが開催されるようになって約5年が経過いたしました。今年の出演者は第3回から毎年出演いただいております。奏者としての演奏を聴くことが出来るコンサートはとても珍しく、演奏だけでなく楽器の紹介も行なっております。そして、ひとたび演奏が始まると、美しい音色がロビーに響くと、日本の病院に居るはずなのですが、赤絨毯が敷き詰められた大階段やロビーの雰囲気とあいまって、シャンソンが流れるパリにいるような雰囲気。コンサート後半にはフルート奏者の松井優樹様に加わり、素敵な音楽の旅が広がります。患者様、ご家族の皆様も素敵な演奏で見事に海外旅行気分まで届けていただけたと思います。これからも素敵な音楽でロビーコンサートを彩っていきたく思います。

記者・大村 篤史

フレンドクラブ慶事のお知らせ



10月8日(木)社会福祉法人福祥福祉会 桃山台コミュニティケアプラザセンター豊泉家 豊中 辻本 伸也 ケアマネジャー(以下CM)と住之江コミュニティSCC 樋口 麻衣子 バイスキヤブテン(以下VCD)が11年の月日を経て入籍され「コロナ福」と言われる情勢下で「コロナ福」を届けていただきました。それぞれのことについて何となく、いつも私のダメな所を正してくれて、尊敬することばかりです。「自分にはない真面目なところにも支えられています。一緒に出かける時は散策して新しい発見を楽しんだりしています。」と互いを認め合いながら楽しく過ごされていくお話しをお聞きすることができました。今後の抱負について尋ねると、「いつも私達のことを理解し、支えてくださっているフレンドの皆さんに感謝しています。今まで通りの自然体な関係を継続できるように支え合いながら頑張っていきたいと思います。」と笑顔でお話しいただきました。辻本CM、樋口VCD、本当におめでとうございます。

第67回豊泉家クォーターカンファレンス



11月20日(金)、アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台4階テラスルームにて、第67回豊泉家クォーターカンファレンスを開催いたしました。今回の研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各コミュニティよりWeb会議システムを使用しご参加いただきました。最初の講話では、公益財団法人モロロジー研究所 生涯学習講師 奈良県佐藤薬品モロロジー事務所 代表世話人 青山寿行 講師より「ありがとうの心(感謝の力)で生きる」をテーマに、今だからこそ身近にいる人々へ目を向けることの大切さや、より豊かな未来を創っていく仕組みについて講話いただきました。続いて、「Yes!」を引き出す「ハートグラム」をテーマに、株式会社決断力 代表取締役 高島徹先生よりご講話いただきました。時代と共に変化する職場環境や人間関係、またオリジナルの診断テストに添って、個人に合った役割や指導方法について教えていただきました。その後、IDEC株式会社 CSR室 室長 川内理絵先生より「Action in the New Normal」(SDGsアクションとCSR)をテーマに講話いただき、持続可能な社会への貢献のために世界中の企業が取り組んでいることや豊泉家グループの事業に例えお話しいただき、グループの強みを再確認すると共に社会課題の解決のために取り組むべきことについて学びました。最後に豊泉家グループ 代表 田中成和会長より「豊泉家の利益の為に未来に挑戦」をテーマにご講話いただきました。2020年度の経営戦略を振り返ると共に、これからの未来に向け豊泉家グループ10周年長期経営計画についてお話しいただきました。「一人ひとりが2030年Vision実現に参画していくために、具体的な道筋を想像する機会となり、「腹が減つては戦ができません」といいますように、私自身もフレンド第一の経営の使命を果たすために励んでまいりますので、2030年に向け共に頑張っていきたいと思います。熱いお言葉を頂戴し閉会いたしました。記者・辻丸 春之

公益財団法人モロロジー研究所 生涯学習講師 奈良県佐藤薬品モロロジー事務所 代表世話人 青山寿行 講師

株式会社決断力 代表取締役 高島徹先生

IDEC株式会社 CSR室 室長 川内理絵先生

豊泉家グループ代表 田中成和会長

2020年11月度 豊泉家大賞・ フェロー大賞 月間賞

豊泉家大賞

住之江三三三FC

新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、新たなメンバーも加わりチームが丸ごと掲げる目標やケイブツ達成に向けて熱心に取り組み、17期マスタープランに近い数字を捉え、2020年の年間目標も達成間近です。チーム目標が日々密接に連携し、地域で困っているご利用者を積極的に受け入れ、感謝のお声も多数いただけていることが高く評価されました。

記者：おめでとうございます。代表として、長岡美香チームスリーにお話を伺いました。

記者：11月度月間賞を受賞したお気持ちをお聞かせください。

記者：このように評価をいただき嬉しみに限りません。

記者：日々チームで意識して取り組んでいることをお教えてください。



住之江三三三FC
社会福祉法人福祥福祉会

長岡：ご利用数と日々の情報共有を意識しました。ご利用者への声かけや危険箇所の対応、こまめな報告が増え、不適合も3ヶ月間出さず、サービスも3ヶ月間出さず、また、独自のクラブ活動を強化し、絵はがきクラブなどのサービスは、ご利用者だけでなく、ご家族にも喜んでいただけています。

記者：最後に今後の目標を教えてください。

長岡：私達自身が楽しみなが、笑顔でサービスを行うことを意識し、豊泉家を第2の家と感じてもらえるように、ご利用者が来たいてほしいです。

豊泉家フェロー大賞

A C (介護) ドメイン

社会福祉法人福祥福祉会 グリーン☆スレッド 長原正和 キャプテンです。

2020年度に入り、チーム力を高めマスタープラン達成に向けて取り組まれた結果が出ています。また新たなサービス創造、認知症ケアプロジェクトに取り組み姿勢が高く評価されました。おめでとうございます。

記者：11月度月間賞を受賞したお気持ちを教えてください。

長原：皆様の協力のおかげで受賞でき、ありがたい限りです。

記者：新サービスの創造や認知症ケアプロジェクトに取り組み中で心掛けています。指示するだけでなく、何をしたいかを聞きながら一緒に進んでいきます。

記者：最後に今後の目標を教えてください。

長原：2020年度は色んな方へ恩返しをしたいと思います。残り3ヶ月も還元出来るように頑張ります。



社会福祉法人福祥福祉会
グリーン☆スレッド
長原 正和 キャプテン

SG (ソーシャルワーク) グループドメイン

一般財団法人SF豊泉家 統合管理本部 総務管理課 藤原啓嗣 課長です。

2020年度システム化に向けて、総務管理本部の簡素化、業務プロセス化、システム導入、年末調整の業務軽減に繋がりました。各現場でもおめでとうございます。

記者：11月度月間賞を受賞したお気持ちをお聞かせください。

藤原：入職して2回目の受賞に驚いており、総務管理本部として取り組んだことで評価いただけたと感じています。

記者：今回、工夫した点や大変だったことはありますか。

藤原：年末調整をWEBにて申請していただけるように、スマートフォンの操作に慣れない方でも対応できるように、マニュアルの作成や個別説明会を設けました。今年は導入初年度かと思いますが、導入に苦慮された方もおられたかと思いますが、来年は手続履歴が表示されるようになり、格段に手続しやすくなると思います。

記者：最後に今後の目標を教えてください。

藤原：教員として、今後の目標を教えてください。



一般財団法人SF豊泉家
統合管理本部 総務管理課
藤原 啓嗣 課長

藤原：最短で全体的な向上、業務効率化、生産性を最大限に発揮できるように力持っています。

社会福祉法人福祥福祉会 ビーチライフ 降幡喜一 フェローです。

入職2年目となり、次期リーダーとしてチームから期待された前向きな姿勢で様々なことに挑戦し、周囲の期待に応えながらモチベーション高く仕事に取り組み、評価されました。おめでとうございます。

記者：11月度月間賞を受賞したお気持ちを教えてください。

降幡：驚きもありませんが、日々の取り組みを評価いただき嬉しいです。

記者：ご入居者と接する際に心掛けています。降幡：笑顔や目線などの基本から、気持ちよく接する。スピーディに伝えるなど接遇面を意識しております。

記者：最後に今後の目標を教えてください。

降幡：初めに比べて、2年目には比べ、出来ることも増えたと実感しています。今後の質の向上と業務の幅を広げたいです。今後先輩方にご教示いただきながら取り組んでいきたいです。



社会福祉法人福祥福祉会
ビーチライフ
降幡 喜一 フェロー

H C (家縁) ドメイン

NPO法人SG博友会 豊泉家フェロークラブ (以下HFC) 立野淳司 キャプテンです。

キャプテンとして、フェロー第1主義で様々なことにチャレンジしております。主催行事の運営と並行して、フェローのPCR検査におけるマネジメントも行い、安心安全な環境を提供しております。併せて、地域貢献事業のつてもある生涯3バーサルスポーツ「棒サカシ」においても中心メンバーとして取り組み、多岐にわたって積極的に取り組む姿勢が、多くの家縁の創造に繋がると評価されました。おめでとうございます。

記者：11月度月間賞を受賞したお気持ちを教えてください。

立野：チームフェローをはじめ、多くのフェローのご協力があり、この度受賞することが出来ました。ありがとうございます。

記者：様々な業務を並行してマネジメントする中で工夫している点や、心掛けています。

立野：自分一人では並行して業務を遂行出来ませんが、周りに協力いただけるようになり、自分から何事にも協力しています。

記者：最後に今後の目標を教えてください。

立野：これからは自ら変化を創り出し、チームで成果を出せるよう邁進してまいります。



NPO法人SG博友会
豊泉家フェロークラブ
立野 淳司 キャプテン

記者：最後に今後の目標を教えてください。

第5回豊泉家オールフェローフォーラム

11月9日(月)、第5回豊泉家オールフェローフォーラムを開催いたしました。例年6月に外部会場にて開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、手指消毒、大時換気に加えPCR検査の実施、三密の環境を避け、豊泉家各ホームにて3会場に分けてWeb会議システムを活用することで無事に第5回目を迎えることが出来ました。

オールフェローフォーラムは「豊泉家健康社会創り」を大テーマとし、フェローが意見を発信する機会を与えることと、幹部と未来を共有すること、自身の役割を明確にする、他フェローの意見な視点を養うこと、多面的な視点を養うこと、目的としています。

はじめに基調講演として、豊泉家グループ代表 田中成和会長より「豊泉家Vision 2030」次世代の利益の為に「をテーマに」お話いただきました。豊泉家グループ10ヶ年計画についてお話しいただき、未来を示していただくことで、より良い豊泉家グループを創っていくために、改めて一人ひとりが出来ることを見つめ直し、更なる意欲向上につながる機会となりました。そして、「常に若々しく美しく生き、そしてその精神を次世代に伝えることを継続し、2030年Visionに向けて共に頑張ります。

「残った出来事について発表いただくことで、チームドメインを越えて、感動体験を互いに分かち合い、これからの励みとなる時間となりました。最後に「家縁・健康社会創り」の好きな豊泉家をテーマに、未来の豊泉家フェローへ魅力を感じるキャッチコピーについて話し合ってください。改めまして自身の働くグループのいい所を共有すると同時に、一人ひとりが豊泉家の広告塔として発信する意欲につながる機会となりました。

今後もフェロー一人ひとりが豊泉家として自分たちの未来を創造し、前進していきけるよう、数多くの学びと成長の機会を提供してまいります。

記者：辻丸 春之



『認知症イノベーション』発売 記念対談 最終回

社会福祉法人福祥福祉会 理事長 阿久根 賢一

元サッカー日本代表 釜本 邦茂

△紹介△ 今号も釜本様との対談内容を一部抜粋して掲載いたします。

阿久根 認知症の方をケアしていく上で、私は支える人と支えられる人という関係ではなく、互いに支え合える関係性の構築こそが真の支援だと考えています。...

釜本 それは大事なことです。人間は誰しも得手不得手があります。全員が平均して、同じように仕事が出来ていくわけではありません。誰かの出来ない部分を、出来る人がカバーしてあげる。...

阿久根 察する力、ということですかね。表には出てこないんですけど、自分が次どう動くか相手の為になるかがわかってる。日本人は潜在的に、その力を持っているんですよ。

釜本 だから海外の監督は日本人のディレクターをすごく評価する。その代わりにオランダの選手への評価は高くないから、あまり試合に出られないんですよ。...

阿久根 チームでどうするか、それが大事なんです。組織が強くなっていくためには、一人ひとりが大きくなっていくことが必要。個々の力が弱ければ小さな輪しかならないけど、強ければ輪が大きくなる。...

「支える人と支えられる人という関係ではなく、互いに支え合える関係性の構築こそが真の支援」(阿久根理事長)

こうと思うと、最終的にはチーム力。それがサービスの質につながると思います。この人はいいサービスをしてくれているけど、あの人はダメだ。たまたまではないんです。...

釜本 互いに補い合うからこそ、チーム力は高まっていくんですよ。阿久根 まさに、そうですね。豊泉家にはたどれば50の力を持つていない人もいます。...

阿久根 その通りです。認知症はなられた方が周りにいらしやらないと、意外と遠い存在の病気であったりします。...

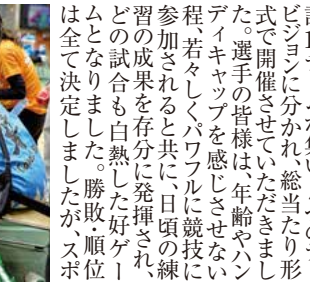
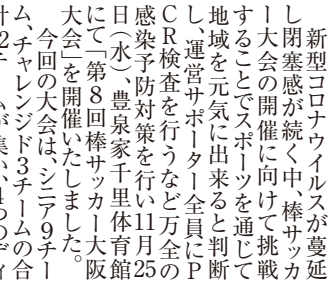
釜本 健常者であるとか障がい者である、認知症を持っているとかは関係なく、皆なにか取り柄といますか、その人になにかない、良いものを持っているはずなんです。...

阿久根 健常者であるとか障がい者である、認知症を持っているとかは関係なく、皆なにか取り柄といますか、その人になにかない、良いものを持っているはずなんです。...



ここまでご覧いただき、ありがとうございました。H.C.C TIMESでの掲載は終了いたしますが、引き続き書籍HPにて対談の全容は更新しておりますので、ぜひご覧ください。

第8回棒サッカー大阪大会



新型コロナウイルスが蔓延し閉塞感が続く中、棒サッカー大会の開催に向けて挑戦すること。...

今回の大会は、シア9チーム、チャレンジド3チームの合計12チームが集い、4つのディビジョンに分かれ、総当たり形式で開催された。...

1ツマンシップに則りプレーされ、全選手に向けて会場からは称賛の拍手が送られました。...



私たちは棒サッカーを応援しています。記者・立野 淳司

チャレンジド「ユニバーシティ」USJツアー



11月23日(祝月)、爽やかな青空が広がる秋晴れの下、豊泉家チャレンジドセンターの4つのメンバー合同で、チャレンジドUSJツアー2020を開催いたしました。...

- CCCT 木村 政恒
CCM 岡田 志帆
CCN 高田 将之